

資格取得のためのサポートや学会や院外研修会への参加も積極的にこなっています。

《過去の学会発表》

2022 年度

- ・ 第 68 回日本不整脈心電学会学術集会
植込み型心臓デバイス認定士の SDG を考える「不整脈診療の持続的発展にむけた植込み型心臓デバイス認定士の役割～看護師の立場から～」
無症候と思われた高齢男性がレートレスポンスの最適化により ADL が著明改善した 1 例～デバイス看護師を中心とした多職種チーム介入の有効性～

2021 年度

- ・ Right Rate Summit in 北陸信州 Rate Response を再考する
「私が考えるレートレスピンス～デバイスナースの立場から～」
- ・ 循環器フリーディスカッション
「超高齢デバイス植込み患者の心不全管理～デバイスナースを中信とした多職種連携～」
- ・ 心不全多職種連携を考える会
「再入院予防を目指した多職種連携～看護師の立場から～」
- ・ 第 78 回長野県農村医学会
「心不全治療の段階に合わせた退院支援・指導を目指して～心不全プログラムの作成～」

2019 年度

- ・ 第 23 回日本心不全学会学術集会
「超高齢心不全患者への心不全教室の試み ～紙芝居を用いて～」
- ・ 第 6 回 CV-NET 信州研修会 職域を越えて学ぶ
「ペースメーカーの看護介入のコツをつかもう！～術前術後から継続看護へ～」
- ・ 令和元年度固定チームナーシング全国研究集会
「ストマケアパンフレットを活用した在宅支援」

2018 年度

- ・ 第 24 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会
「超高齢地域におけるデバイス看護師の軸を中心とした多職種連携」
- ・ 平成 30 年度固定チームナーシング全国研究集会
「心不全患者への集団指導をおこなってみて」
- ・ 第 22 回日本心不全学会学術集会
「心不全患者終末期慢性心不全患者に対し自宅退院に向けて多職種が連携協働しエンドオブライフケアを実現した一例」

2017 年度

- ・ 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会
「虚血性心疾患患者に対する多職種介入率改善を目的としたクリティカルパスの有用性」
- ・ 第 64 回日本不整脈心電学会学術大会
「超高齢地域を背景とした病院におけるデバイス看護師の役割-デバイス外来における多職種連携強化のために-」
- ・ 第 2 回日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越地方会
「ここまでできた多職種での心リハ運営」
「心不全患者における退院後外来での指導介入の充実に向けた情報共有シートを活用した一例」

- ・第 38 回長野県看護研究学会
「チェックリスト導入による看護師の転倒転落に対する意識と転倒転落発生後の看護記録実施率の変化」
- ・信州 CRM Device Meeting 2017
「多職種連携におけるデバイスナースの役割」

2016 年度

- ・平成 28 年度 固定チームナーシング 長野地方会
「医療現場における標語復唱の効果について」

《参加学会・研修会》

- 日本心臓リハビリテーション学会
- 日本不整脈心電学会学術大会
- 日本心不全学会学術集会
- 日本農村医学会学術集会
- 日本ストーマリハビリテーション学会
- 植込みデバイス関連冬季大会—日本不整脈心電学会
- 日本循環器看護学会学術集会
- 実地指導者研修（長野県看護協会）
- 心不全患者の看護（長野県看護協会）
- MBO 研修（JA 長野厚生連）
- 認知症対応力向上研修
- 看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修
- 緩和ケアセミナー（信州大学医学部附属病院）
- 医療コンフリクト・マネジメントセミナー«日本医療メディエーター協会）
- 看護研究を始めよう（長野県看護協会）
- 日頃の疑問を研究にしてみよう（長野県看護協会）
- ファシリテーター研修（JA 長野厚生連）
- End-of-life Nursing Education Consortium-Japan(ELNEC-J)コアカリキュラム
(信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和ケアセンター)